

MIC Worship Service – 2024.11.03

Title: “*Courageous Faith*”

Text: Deuteronomy 31:6, NIV

“Be strong and courageous. Do not be afraid or terrified because of them, for the LORD your God goes with you; he will never leave you nor forsake you.”

「勇気ある信仰」

聖書箇所：申命記 31 章 6 節 新改訳

「6 強くあれ、雄雄しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」

Introduction

As we come together for the *International Day of Prayer for the Persecuted Church* (IDOP), we join millions of believers across the globe to stand in solidarity with our persecuted Christian family.

迫害下にある教会のための国際祈祷日（IDOP）という日があります。その日に、世界中の何百万人もの信者が集まることによって、私たちは世界中で迫害されているクリスチャンのファミリーたちと結束する事ができます。

[NOTE: This message draws heavily from the IDOP website for information.]

[注：本日のメッセージは、迫害下にある教会のための国際祈祷日（IDOP）のウェブサイトから多くの情報を引用しています。]

The theme for this year’s IDOP, “***Courageous Faith***,” is rooted in God’s command to His people in Deuteronomy 31:6—a call to strength and courage in the face of uncertainty, danger, and fear. This message is especially touching in today’s world, where *persecution is a daily reality for many Christians*. Despite intense adversity, these believers remain resolute, holding tightly to their faith in Jesus Christ. They are living examples of courageous faith.

今年の IDOP（迫害下にある教会のための国際祈祷日）の「**勇気ある信仰**」というテーマは、申命記 31 章 6 節に書かれている神の民への命令に根付いたものになっています。多くのクリスチャンにとって迫害が日常的な現実となっているこんにちの世界で、そこに書かれているメッセージは、私たちの心にとっても響きます。申命記に書かれている信者たちは、激しい逆境にもかかわらず

らずイエス・キリストへの信仰を固く守り、毅然とした態度を保っています。彼らは勇気ある、信仰の生きた模範と言えます。

では今から、世界中でクリスチャン達に起こっている**迫害の現状**を、私たちはどれくらい知っているのかをみていきましょう。

I. The Reality of Persecution

I. 迫害の現状

The statistics of global persecution are sobering:

世界でのクリスチャンに対する迫害の現状は深刻であり、次のような統計が示されています。

- Over 5,000 Christians have been martyred for their faith this past year alone.
- More than 14,000 properties belonging to Christians have been attacked.
- 316 million Christians live under severe persecution.

- この1年だけでも 5,000 人以上のキリスト教徒が信仰のために殉教している。
- クリスチャンの所有する 14,000 以上の建物が攻撃されている。
- 3 億 1,600 万人のキリスト教徒が深刻な迫害の下で暮らしている。

These numbers represent more than data; they represent men, women, and children—our spiritual family. From the Middle East to Africa, from Asia to parts of the West, followers of Jesus are facing oppression simply because they love Christ. This reminds us of Hebrews 13:3: ***“Continue to remember those in prison as if you were together with them in prison, and those who are mistreated as if you yourselves were suffering.”***

これらの数字は単なるデータではなく、私たちの霊的な家族である男性、女性、そして子どもたちをあらわしているのです。中東からアフリカ、アジアから西洋の一部まで、イエスに従う者たちは、ただキリストを愛しているという理由だけで弾圧に直面しているのです。このことは、ヘブル人への手紙 13 章 3 節を私たちに思い起こさせます。 **「牢につながれている人々を、自分も牢にいる気持ちで思いやり、また、自分も肉体を持っているのですから、苦しめられている人々を思いやりなさい。」**

Also in Romans 12:15b: ***"Mourn with those who mourn."***

また、ローマ人への手紙 12 章 15 節 b 節には次のように書かれています。

「泣く者といっしょに泣きなさい。」

In other words, we are called to empathize deeply with the persecuted, feeling their pain as if it were our own.

つまり私たちは、迫害されている人々に深く共感し、彼らの痛みを自分の痛みとして感じるようになれと言われているのです。

II. A Call to Stand Strong and Courageous

そしてまた、私たちは迫害に対して、『**強く勇気をもって立ち上がれ**』と呼びかけられています。

II. 強く勇気をもって立ち上がれという命令

In Deuteronomy 31:6, God gives the Israelites this command just as they prepare to enter the Promised Land. ***"Be strong and courageous. Do not be afraid or terrified because of them, for the LORD your God goes with you; he will never leave you nor forsake you"***

申命記 31 章 6 節で、約束の地に入る準備をするイスラエルの民は、次のように命じられました。**「6 強くあれ、雄雄しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」**

They were facing powerful enemies, but God assured them of His unwavering presence. This same God who was with the Israelites is with our brothers and sisters facing persecution today. The same God is with us as we stand in solidarity with them.

この時、イスラエルの民たちは強大な敵に直面していましたが、神は揺るぎない御臨在を彼らに約束されたのです。イスラエルの民と共におられたこの同じ神が、今日迫害に直面している私たちの兄弟姉妹と共におられるのです。そのことは、迫害を受けている人々と私たちが結束すれば、同じ神が私たちと共にいてくださるということなのです。

Jesus warned His followers that persecution would come: ***“If the world hates you, keep in mind that it hated me first”***(John 15:18). He goes on to say, ***“In this world you will have trouble. But take heart! I have overcome the world”***(John 16:33). Despite the suffering they endure, persecuted Christians cling to this promise. The power of God is evident in their unwavering commitment, echoing the courage of Paul who, despite suffering countless hardships, declared, ***“For to me, to live is Christ and to die is gain”***(Philippians 1:21).

イエスは弟子たちに、迫害を受けることになることを警告しました。「もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。」（ヨハネによる福音書 15 章 18 節）

「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」（ヨハネによる福音書 16 章 33 節）

迫害されているクリスチャンたちは、苦しみ能耐えながら、これらの約束にしがみついているのです。数え切れないほどの苦難に遭いながらも、「私にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも益です。」（ピリピ人への手紙 1 章 21 節）と宣言したパウロの勇気と呼応するように、迫害されている人々の揺るぎない献身によって神の力が現れているのです。

III. Lessons from the Courageous Faith of the Persecuted

そして私たちは、『迫害された人々の勇気ある信仰』から学ぶことができます。

III. 迫害された人々の勇気ある信仰からの教訓

Our persecuted family models three (3) essential principles of faith for us:

私たちの迫害された家族（兄弟姉妹たち）は、『信仰に欠かすことのできない 3 つの原則』の模範を示してくれています。

A. Endurance in Suffering

James 1:2~4 reminds us, ***“Consider it pure joy, my brothers and sisters, whenever you face trials of many kinds, because you know that the testing of your faith***

produces perseverance.” Our persecuted Christian family teaches us that trials are not just something to endure but can be transformative, producing endurance and maturity. Just as a diamond is formed under pressure, so faith grows through suffering.

『信仰に欠かすことのできない3つの原則』の一つ目は、『**苦難を耐える**』ことです。

A. 苦難を耐える

ヤコブの手紙 1 章 2~4 節は、次のように言っています。 **「私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰が試されると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。」**

私たちの家族である迫害されているクリスチャンたちは、試練とはただ耐えるだけのものではなく、忍耐と成熟を生み出す「変容」の可能性があるということを教えてくれています。ダイヤモンドという石が圧力を受けて形成されるように、信仰も苦しみを通して成長するのです。

ILLUSTRATION: Think of the story of Richard Wurmbrand, a Romanian pastor who spent 14 years in prison for his faith. His suffering was immense, yet he emerged with an even stronger commitment to Christ. In the darkness of his cell, he saw the light of God’s love and grew closer to Jesus. Wurmbrand’s story (See, *Tortured for Christ*) reminds us that faith can thrive even in the most hostile environments.

ここで、信仰を貫いた為に 14 年間獄中で過ごすことになったルーマニア人牧師、リチャード・ウルムブランドの物語を思い浮かべてほしいと思います。当時の彼の苦しみは計り知れないものでしたが、彼はキリストへの決意をさらに強くし、独房の暗闇の中で神の愛の光を経験し、イエスをさらに近く感じたのでした。ウルムブランドの物語（参照：『*Tortured for Christ*』）は、どんなに最悪で過酷な環境においても信仰は育つのだということを私たちに思い起こさせてくれます。

B. Trust in God’s Sovereignty

Romans 8:28 assures us, ***“And we know that in all things God works for the good of those who love him, who have been called according to his purpose.”*** Our persecuted Christian family trusts in God’s purposes even when they don’t understand why they suffer. Their lives remind us that God is at work even in the most painful situations.

『信仰に欠かすことのできない3つの原則』の二つ目は、『**神の主権を信じる**』ということです。

B. 神の主権を信じる

ローマ人への手紙 8 章 28 節は、**「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを私たちは知っています。」**と断言しています。私たちのファミリーである迫害されているクリスチャンたちは、自分たちがなぜ苦しんでいるのかを理解できなくても、神の目的を信じています。彼らの人生を見ると、どんなに苦しい状況においても神が働いておられることがわかります。

ILLUSTRATION: A church in Egypt was bombed, yet the Christians who survived continued to gather to worship. When asked why they did not flee, they replied, *“Our hope is in Jesus, not in our circumstances.”* This kind of faith reveals a deep trust that God is in control, even in the midst of chaos.

あるエジプトの教会が爆撃を受けましたが、生き残ったクリスチャンたちは爆撃後も礼拝のために集まり続けたそうです。なぜ逃げなかったのかと尋ねると、彼らは次のように答えたそうです。**「私たちの希望はイエスにあるのであって、私たちが置かれた状況にあるのではない。」**

このような信仰は、たとえ混乱の中にあっても神が支配しておられるのだという神への深い信頼が明らかに表されています。

C. Unwavering Hope in Eternal Life

Persecuted Christians demonstrate a profound hope that transcends this world. Jesus said in Matthew 5:10~12, ***“Blessed are those who are persecuted because of righteousness, for theirs is the kingdom of heaven… Rejoice and be glad, because great is your reward in heaven.”*** The hope of heaven sustains them, knowing that their suffering is temporary, but the joy of eternity is everlasting.

『信仰に欠かすことのできない 3 つの原則』の三つ目は、『**永遠の命へ揺るぎない希望を持つ**』ということです。

C. 永遠の命へ揺るぎない希望を持つ

迫害されているクリスチャンたちは、この世を超越した大きな希望を私たちに示してくれています。イエスは、マタイによる福音書 5 章 10~12 節で **「義のゆえに迫害されている者は幸いです。喜びなさい。喜びおどきなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。」**と、言われました。なぜなら、苦しみは一時的なものです、永遠の喜びは永遠に続くことを知っておられたからです。

ILLUSTRATION: Many persecuted believers report dreams or visions of Jesus comforting them. They speak of sensing God's peace in the midst of violence, ***a peace that surpasses all understanding*** (Philippians 4:7). These accounts remind us that God is near to the brokenhearted (Psalm 34:18) and that He does not abandon His children.

迫害されている信者の多くが、イエスの夢や幻を見ることで慰められていると言っています。彼らは、たとえ暴力の中にあっても、神の平安、すなわち、***人のすべての考えにまさる神の平安***を感じると言っています。（ピリピ人への手紙 4 章 7 節）これらの証言は、神が心砕かれた者の近くにおられるということと（詩篇 34 篇 18 節）、神はご自分の子どもたちを見捨てないということをお教えます。

IV. Our Response to Their Courageous Faith

では、迫害されている人々の勇気ある信仰に、私たちはどのように応えるべきなのでしょうか。

IV. 彼らの勇気ある信仰に対する私たちの応答

As we observe the IDOP, we are invited to do more than ***pray*** for our persecuted brothers and sisters; we are called to ***learn*** from them and ***stand*** with them. Hebrews 12:1~2 calls us to ***“run with perseverance the race marked out for us, fixing our eyes on Jesus, the pioneer and perfecter of faith.”*** As they run their race, we can support them by:

迫害下にある教会のための国際祈祷日（IDOP）には、私たちは、迫害されている兄弟姉妹のために***祈るだけ***でなく、彼らから***学び***、***彼らと共に***立ち上がるように求められています。ヘブル人への手紙 12 章 1~2 節では、私たちに、「***信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さず、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか。***」と呼びかけています。迫害されている彼らがレース（競争）を走るとき、私たちは次のようにして彼らを支えることができるでしょう。

A. Praying for their Strength and Protection

Ephesians 6:18 urges us to ***“pray in the Spirit on all occasions with all kinds of prayers and requests.”*** Pray that God will fortify their hearts and shield them from harm.

私たちは、『***彼らの力と守りのために祈る***』ことによって支えることができます。

A. 彼らの力と守りのために祈る

エペソ人への手紙 6 章 18 節には、「**すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。**」という勧めが書かれています。神が彼らの心を強め、危害から守ってくださるよう祈りましょう。

B. Advocating for their Rights

Proverbs 31:8~9 calls us to “*Speak up for those who cannot speak for themselves.*” Raise awareness about Christian persecution. Advocate for policies that protect religious freedom.

また私たちは、『**彼らの権利を擁護する**』ことによって迫害されている人々を支えることができます。

B. 彼らの権利を擁護する

箴言 31 章 8~9 節は、私たちに、「**あなたは口のきけない者のために、また、すべての不幸な人の訴えのために、口を開け**」と呼びかけています。キリスト教への迫害についての認識を高めましょう。そして、信教の自由を守る政策を提唱しましょう。

C. Providing Practical Support

The early church in Acts 4:32~35 demonstrated sacrificial love by sharing everything they had to meet one another's needs. Let's support organizations that provide aid to persecuted Christians, meeting their physical needs as they hold fast to their faith.

私たちは、『**実質的な支援を提供する**』ことによって迫害されている人々を支えることができます。

C. 実質的な支援を提供する

使徒言行録 4 章 32-35 節に記されている初代教会は、互いの必要を満たすために持てるものすべてを分かち合うことによって「犠牲を厭わない愛」を示しました。そのように私たちも、迫害されているクリスチャンたちを援助している団体を支援することによって、クリスチャンたちが信仰を堅持できるように、物理的な必要を満たしてあげましょう。

D. Living Courageously in Our Own Faith

Our persecuted Christian family reminds us to live boldly for Christ where we are, to not take our freedoms for granted, and to seize every opportunity to share the gospel.

私たちは、『**自らの信仰に勇気をもって生きる**』ことによって、迫害されている人々を支えることができます。

D. 自らの信仰に勇気をもって生きる

私たちが今いる場所で、キリストのために堂々と（大胆に）生きること、私たちの自由を当たり前だと思わないこと、福音を伝えるあらゆる機会を活かすことを、迫害されているクリスチャンたちのことを考え、思い起こしましょう。

Conclusion

ILLUSTRATION: When the emperor Valens threatened Eusebius with confiscation of all his goods, torture, banishment, or even death, the courageous Christian replied, *"He needs not fear confiscation, who has nothing to lose; nor banishment, to whom heaven is his country; nor torments, when his body can be destroyed at one blow; nor death, which is the only way to set him at liberty from sin and sorrow."*

ワレンス皇帝は、キリスト教の司教だったエウセビオスの全財産を没収し、拷問し、追放し、または、殺すと脅したりもしました。その時、勇気あるキリスト教徒であったエウセビオスは次のように言いました。「失うものが何もない者は没収を恐れる必要はない。天国が自分の国である者は追放を恐れる必要はない。一瞬の痛みで肉体が終わるのなら、なおさら恐れる必要はない。死は罪と悲しみから解放される唯一の方法であるから、恐れる必要はないのだ。」

In a world increasingly hostile to the gospel, let us be inspired by our persecuted brothers and sisters who live out courageous faith. May we pray fervently for them, support them, and be encouraged by their example. Like them, let us ***"be strong and courageous"*** because the LORD our God goes with us, and He will never leave us nor forsake us.

福音に対する敵意がますます強まっているこの世界にあって、勇気をもって信仰を貫き、迫害されている兄弟姉妹からインスピレーション（刺激）を受けようではありませんか。彼らのために熱心に祈り、彼らを支え、彼らを模範にして私たちが励まされますように。彼らのように、私たちも**強く勇気を持ちましょう**。私たちの神である主は、私たちと共におられ、決して私たちを離さず、見捨てないのですから。